

「プラン2020」 5年目取組状況

「プラン2025」の策定

「プラン2020」 飲料用紙パックリサイクル 行動計画

アクションプランに基づいて、4つの委員会で活動を推進しております。2020年の主な活動は以下のとおりです。

1.総務委員会

(1)回収力を高める場づくり

2月に東京都で「飲料用紙パックリサイクル促進意見交換会」を開催しました。2019年は台風15号の被害状況を考慮して開催を中止した千葉県での「地域会議」を2021年1月末の開催に向けて準備を進めています。

(2)様々な生活の場における回収促進

東京都民間保育園協会の広報誌に紙パックリサイクル促進の案内を新たに掲載することができました。東京都民間保育園協会には約1200の保育園が所属しており、新たな回収促進の可能性が期待できます。外食産業の回収力向上に向けた実態調査も継続して取り組んでいます。

(3)教育や学習の場における活動の促進

学校を核とした回収力強化の一環として、引き続きリサイクル意識の高い自治体の小学校へ出前授業を行いました。

(4)コミュニケーションの充実

各専門委員会と連携しステークホルダーとの対話と協調に努めました。

2.広報委員会

(1)インターネットメディアの活用

2021年4月運用開始に向けてパソコンからだけでなく、スマートフォンからもホームページを閲覧しやすくするためにプログラムの変更及びデザイン・レイアウトの刷新を行いました。

(2)新規広告媒体の活用

昨年開始した三鷹市のごみ袋外装への紙パックリサイクル啓発の広告掲載を継続し、同市のホームページにバナー広告を掲出しました。

(3)「紙パックリサイクル啓発動画」の制作

全国パック連と協力して2本の動画を制作し、紙パックの開き方などのいろいろな情報をわかりやすく紹介しました。

3.イベント委員会

(1)紙パックリサイクル促進による環境教育と普及啓発

今年度においては、新型コロナウイルス感染防止を最優先に考慮し、従来実施していた出前授業、自治体・店舗でのリサイクル講習会、地域環境フェアへの出展など多くを見送ることとなりました。新たな啓発活動の在り方を検討しつつ、活動する年となりました。

①新たな試みとして、川崎市の市民団体、川崎市環境局と連携し、川崎市の小学校に対し、感染防止策を充分配慮しつつ、セミナー形式のみの出前授業を開催しました。

②「エコプロ(エコスタディールーム)Online2020」に3R推進団体連絡会の一員として参加しました。例年出展していた実展示が中止となったものの、WEB上にて牛乳パックリサイクル促進活動を紹介しました。また、ライブセミナーに参加し、新たに制作した動画などによる啓発発信をしました。

(2)牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール

表彰式は見送ったものの、ほぼ例年どおりに実施することができました。外出自粛、一斉休校や夏休み期間の短縮など作品制作に影響があったと思われるものの、1,670点もの応募をいただき、感謝と共に、このコンクールが子どもたちに根付いていると感じました。

4.支部組織委員会

(1)地域の環境活動などへの積極的支援及び参加

容環協会員の本社および地域事業所が、容環協の各種パネルや冊子などを活用して独自に紙パックリサイクル啓発活動を実施し、こどもの国牧場 牧場まつりや京都丹波スマート環境学習等の地域の環境活動に参加しました。多くのイベントが中止になる中、例年の1/3の地域イベントは開催できました。

「プラン2025」飲料用 紙パックリサイクル 行動計画策定の検討

容環協では、2020年度を目標年度とした「プラン2020」に従い活動を行ってきました。最終年度を迎えるにあたり2025年を目標年度とした次期中期行動計画「プラン2025」の検討を進めています。

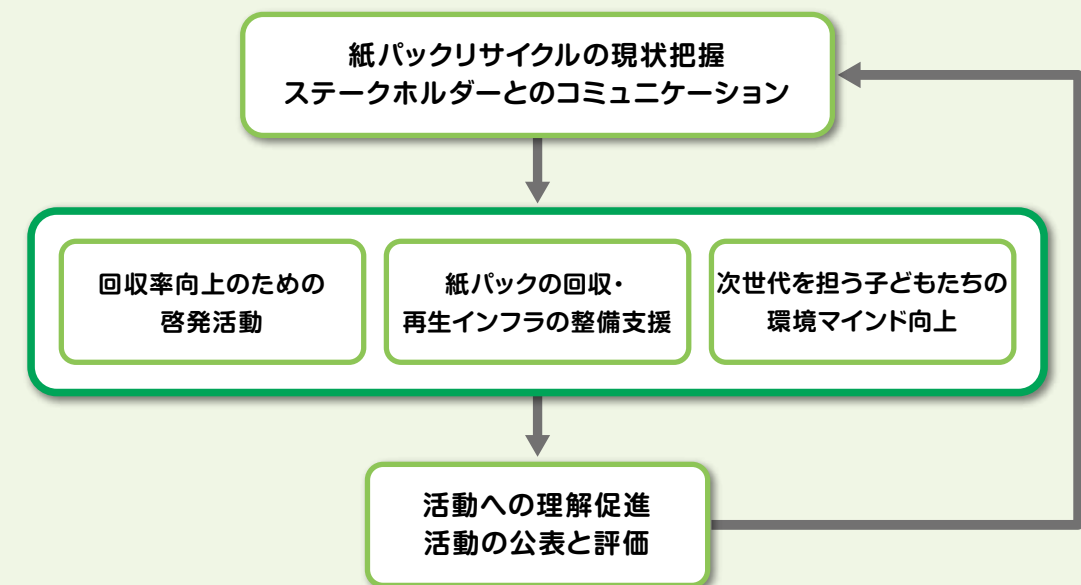
「プラン2020」では、①ステークホルダーとの意見交換会、②地域の回収率向上を目的とした地域会議、③保育園や外食産業などへの働きかけ、④地域の環境活動への参加、⑤回収ボックスの提供、⑥バスへのラッピング広告や有料ごみ袋への啓発広告、⑦雑がみの組成

調査、⑧小学生への出前授業など様々な活動を進めてきました。

しかしながら、この間、紙パックの回収率は残念ながら低下傾向となっています。容環協では回収率向上に向けて活動内容の全面的な見直しが必要と考え、「プラン2025」ワーキンググループを設置し議論を重ねています。こうした中でいくつかの課題が見えてきました。それぞれの課題をより明確にして向き合い、より実効的で社会の共感を得られる活動にしていきたいと考えています。

プラン2025の概要(案)

回収率目標 50%



リサイクル促進意見交換会

牛乳パックリサイクル出前授業



関係団体が多数集い、
リサイクルの現状と課題を
話し合う貴重な場に。

【第32回飲料用紙パックリサイクル促進意見交換会】

2020年2月13日に乳業会館にて、経済産業省素材産業課・資源循環経済課、農林水産省牛乳乳製品課、自治体関係者、市民団体、古紙回収業者、製紙メーカーなど計58名出席のもと、開催しました。

最初に容環協の城端会長(当時)から、紙パックリサイクルは中国の廃プラ輸入制限などの環境の変化により、回収率50%の目標に対して非常に厳しい状況となっており、今日来場のいろいろなステークホルダーの皆様と活発な意見交換を行って問題解決を図っていききたいとの挨拶がありました。経産省から、国内外で古紙の需給変動が激しい状況となっており、解決策について日々知恵を絞っているところとの挨拶を、農水省から、学校給食用牛乳支援事業の立場から学乳パックのリサイクル問題についてこのような意見交換の中で知恵を借りて解決策に繋げたいとの挨拶がありました。

次に取組状況報告として事務局から、容環協の活動報告と2018年度の回収率の概要説明を行いました。紙パック全体の回収率は42.5%と目標数値に対して7.5ポイント低い数字になったこと。まな板や工作に再活用され、捨てられている量はかなり多く、回収率で2ポイント以上と推測されることなどの報告を行いました。続いて4つの専門委員会の活動状況を各委員長から報告しました。



来賓挨拶

調査会社からは、2018年度の回収率調査結果の詳細内容と飲料種類別やキャップの有無が消費者のリサイクル行動に与える影響についてのインターネットアンケート調査の概要説明を行いました。

前半の最後に容環協から、フィンランドの製紙メーカーとベルギー、イギリスのリサイクル状況の視察報告を行いました。

後半の意見交換では7つの区市から紙パックリサイクル状況・課題について報告がありました。全国パック連の平井代表からは、自治体に対して市民への啓発において容環協が保有するDVDや啓発冊子類をぜひ活用していただきたいことや海外で普及が進んでいるキャップ付き紙パックやCTMP(ケミサーモメカニカルパルプ)は日本のリサイクルシステムにはマイナスの影響を与えるとの補足説明がありました。また、中国の環境規制強化を背景に古紙回収業者から輸出が困難になり在庫が増え、市況が下がったために非常に厳しい状況であるとの報告があり、製紙メーカーからポリエチレン残渣の処理費用が高騰し、本当に厳しい状況との説明がありました。学乳パックを乳業会社が引き取りできなくなったことにより、対応について関係者で協議を行ってききましたが、古紙回収業者より東京都台東区の依頼で、きれいに洗うことなどを条件に引き取って製紙メーカーに渡すことになったとの情報提供がありました。

グローバルな環境問題、資源循環への対応が求められる中で紙パック回収に携わるステークホルダー間のコミュニケーションがよりいっそう重要と再認識いたしました。



ステークホルダーの方々

子どもたちの学びの場に。
毎年好評の「出前授業」を
全国の小学校で開催。

全国の小学校で、全国パック連と連携して「牛乳パックリサイクル出前授業」を開催しました。

【広島県 広島市立河内(こうち)小学校】2020年1月15日

広島市西部に位置する河内小学校で、4年生24名とその保護者を対象に出前授業を行いました。写真やクイズを織り交ぜた講義では、日本独特の回収システムにより紙パックがトイレトペーパーなどにリサイクルされ、CO₂削減にもつながっていることに児童たちは感心。DVD「牛乳パックン探検隊」の視聴後は「手すきはがきづくり」にも挑戦し、初めて触るパルプの感触や紙すき舟の水の冷たさに驚きながらも懸命に取り組んでいました。保護者からは「家庭でも紙すきをやってみたい」と、材料や道具の入手に関する質問も。児童たちは完成したはがきを見せ合いながら「真っ白な、きれいで丈夫なはがきができるんだね」と感動していました。



全国パック連 平井代表の講義



児童と保護者が一緒に「手すきはがきづくり」に挑戦

出前授業講義内容

- ・講義 「資源と森林管理について」
「牛乳パックは良質な資源」
- ・視聴 DVD「牛乳パックン探検隊」
- ・体験 「手すきはがきづくり(牛乳パックパルプ使用)」
- ・質問コーナー 「リサイクル説明パネル」

【岡山県 新見市立本郷小学校】2020年1月28日

本郷小学校は全校児童が100人ほどの小規模校で、今回は3～5年生の43名が参加。講義の中でクイズに挑戦したり、DVD「牛乳パックン探検隊」を視聴する間、児童は真剣な表情でした。「手すきはがきづくり」では、少し水が冷たく感じられましたが、どの子も上手につくることができ、牛乳パックがはがきとして再生することに驚いたり感心したり。パネルや展示物を使ったおさらいでは児童から次々に質問が飛び出し、日ごろからしっかりと学習している様子がうかがえました。当日は公開授業として保護者・近隣住民の見学やケーブルテレビ局の取材もあり、地域の方々にも紙パックリサイクルの大切さを知っていただくよい機会になりました。



地元のケーブルテレビ局も取材に来ました



オリジナルの手すきはがきを手に記念撮影

牛乳パックリサイクル出前授業

牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール

市民団体や自治体と連携し、
三密に配慮した
出前授業を実施しました。

【神奈川県 川崎市立東小倉小学校】2020年8月19日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度に予定していた出前授業は中止が続いていましたが、今回、川崎市の市民団体(3R推進プロジェクト、グリーンコンシューマーグループかわさき)と川崎市環境局、容環協が連携し、従来とは少し違う形の出前授業を実施しました。

授業は5年生3クラス84名を対象に、感染防止対策としてクラスごとに同じ内容を3回実施しました。

まずは、市民団体より「現在、川崎市の給食の牛乳パックはリサイクルされていないのもったいない」という説明があり、毎日牛乳パックを折りたたんで片付けていた児童からは「えー、なんで?」と驚きの声が上がりました。

続いて、容環協よりパックン探検隊のビデオ上映と、「牛乳パックはどのように作られているか」や、「リサイクルの方法とメリット」を説明。「洗って・開いて・乾かして」が重要なことや、簡単に手開きができることを実演しました。

3番目に、川崎市環境局より、川崎市のごみ処理の現状やごみ減量のためにリサイクルはとても有効であることの説明がありました。



容環協によるリサイクル方法の解説

出前授業講義内容

- ・講義 「3Rについて」
「牛乳パックのリサイクル方法とメリット」
- ・視聴 DVD「牛乳パックン探検隊」
- ・班ごとのグループワーク
テーマ「どうしたらリサイクルできるようになるか」
- ・質疑応答、他校の事例紹介(ビデオ)

その後、4人ずつの班に分かれ、担任の先生から「どうしたら東小倉小の牛乳パックがリサイクルできるか」をテーマに課題や解決策を話し合い、班ごとに発表をしました。

東小倉小の5年生は、「SDGs」について学んでいることもあり、リサイクル問題を解決するために「地球温暖化防止」や「社会の仕組み」に関する意見まで出てきたことにはとても驚きました。

全クラスとも「できるところからリサイクルをやろう」という意見でまとまり、総合の授業で具体的な対策を話し合うことも決まりました。

最後に、横浜市の小学校のリサイクル事例の紹介と質疑応答をおこない、牛乳パックのリサイクル品が高品質であることを知ってもらうために、全員にリサイクルトイレットペーパーを配布して、授業を終了しました。

10月5日に再訪問したところ、5年生の全クラスでリサイクルが始まっていました。洗い方や乾かし方は皆で話し合っただけです。同じ階の4年生も自主的に参加しており、今後、全校に広めたいという声も聞かれました。



班ごとの結果の発表

真崎 李奈子さんの作品
『楽しく学ぼう環境・エコかるた』
が見事最優秀賞に。

記念すべき20回目を迎えた「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール2020」には、コロナ禍の逆境においても、全国の小学校より1,670作品の応募がありました。ありがとうございます。いずれも楽しく力作ぞろいの中、厳正な審査の結果、受賞作品7点が選ばれました。おめでとうございます。



最優秀賞『楽しく学ぼう環境・エコかるた』



優秀賞



優秀賞



全国小中学校環境教育研究会賞



全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞



全国牛乳容器環境協議会賞



日本乳業協会賞

最優秀賞は北海道の小学校4年真崎 李奈子さんの作品『楽しく学ぼう環境・エコかるた』でした。一枚一枚すべて環境問題を取り上げた読み札と絵札、大きさと厚さをそろえて実際に使って学べる実用性に富んだ完成度はもちろんのこと、制作過程の根気と丁寧さ、アイデアを生み出す想像力や感性に、審査委員全員が高く評価しました。

例年行ってきた受賞者の表彰式については、残念ながら感染拡大防止のため中止としましたが、審査委員長の東京国立博物館・銭谷館長、実行委員長の容環協・原田会長をはじめ審査委員の方々より受賞者にそれぞれ祝福のビデオレターと賞状・盾・副賞が贈られました。また、「エコプロOnline(エコスタディールームOnline)」の中で、審査風景や受賞作品を紹介する動画を公開しました。

受賞作品は容環協の小学生向けホームページ「牛乳パックン探検隊」で紹介されています。

《受賞作品》

- ◆最優秀賞
『楽しく学ぼう環境・エコかるた』
真崎 李奈子さん(千歳市立末広小学校4年)
- ◆優秀賞 『マイバッグとエプロンセット』
真崎 茜里さん(千歳市立末広小学校2年)
- ◆優秀賞 『リフトアップ↑マスクケース』
西垣 聡恵さん(朝来市立牧田小学校3年)
- ◆全国小中学校環境教育研究会賞
『コロナ退散!!牛乳パックだるま』
中戸川 琉太郎さん(平塚市立富士見小学校4年)
- ◆全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞
『だてまさむねのぶしょうセット』
若山 怜穂さん(島本町立第二小学校3年)
- ◆全国牛乳容器環境協議会賞
『くものす』
西畑 遥香さん(同志社国際学院初等部1年)
- ◆日本乳業協会賞
『牛にゅうパックで大きなひまわりさかせたよ』
日野 成美さん(高山市立江名子小学校3年)



駅に牛乳パックの街が出現しました。

【牛乳パックで作った乗り物の街】

京成電鉄(株)の日暮里駅に、鉄道ジオラマ「牛乳パックで作った乗り物の街」が展示されていました。

牛乳パケットレイン(AE形スカイライナー・3100形)をはじめ観覧車や水族館・商店などの街並みが牛乳パックで再現されています。

制作は日暮里駅の職員のみなさんで、完成までに約40日掛かったそうです。

当初は7月上旬から8月末までの展示予定でしたが、駅を訪れたファミリー層の8〜9割が立ち止まり、電車を触ったり、写真を撮ったりと大好評で10月末まで延長して設置してありました。

また、鉄道ジオラマの隣には牛乳パケットレインの型紙が置いてありましたが、多くの家族連れがご家庭で牛乳パケットレインを制作しようと持ち帰られていました。

京成電鉄HPにある「京成きずりベース」内に設けられている牛乳パケットレイン・塗り絵のコンテンツを利用して製作したきっかけは、子供たちが自分で作って楽しめるコンテンツとして検討され、手に触れることができるものとして、平面では塗り絵を、立体では電車の工作を考えましたが、一般のコピー用紙では強度が弱いので、ご家庭で簡単に手に入り紙を貼りつけられる牛乳パックを活用することになりました。この取り組みを知った市川真間駅の駅長



AE形スカイライナー・3100形

さんが駅に訪れた児童に牛乳パケットレインを配布したところ、大変好評だったことで、その後他駅でも配布や設置が広がりました。

牛乳パックを再利用することは、環境にも優しく、リサイクルや再利用を推奨することに繋がるという思いもあったという話があり、容環協の活動もっと広げていかなくてはと、思いを新たにしました。

紙パック回収 ありがとうキャンペーン 実施しました。

【トイレトペーパーをプレゼント】

紙パックリサイクル意識を高めることを目的に現在、年間約400個配布している回収ボックスは、全国の市町村・企業の回収拠点に設置されています。9月から10月にかけて回収ボックスを設置した拠点を対象にアンケートを実施しました。沢山の応募がありましたが、アンケートをお寄せいただいた応募者のうち165か所に牛乳パック再生品のオリジナルデザイントイレトペーパーを送付いたしました。これを機に、更なるリサイクルの輪が広がっていくことを期待いたします。



応募用紙



オリジナルデザイントイレトペーパー

新規啓発動画を制作し、 オンライン展示会という新しいフィールド で紙パックリサイクルの大切さを アピールしました。

【啓発動画制作とオンラインセミナーへの展開】

コロナ禍で2月以降の啓発イベントがすべて中止になる中、全国パック連と協力して斬新な動画を制作しました。

撮影は都内のスタジオで一日かけて関係者立合いのもとで行われました。マスコミでも話題になっているごみ清掃員・ごみ研究家でお笑い副業と自認するマシンガンの滝沢氏と相方の西堀氏出演による「もったいない!牛乳パックは捨てないで」、「やってみよ〜牛乳パックのリサイクル」の2本です。プロ芸人の掛け合いによる紙パックリサイクルの説明はとてもインパクトがあり、楽しみながら学ぶことができます。テロップや図表も挿入してわかりやすいように工夫しました。

完成直後の11月25日〜28日の4日間にわたり、オンライン開催されたエコプロにて初披露し、大変多くの方にアクセスしていただき、幅広い方々への啓発の可能性を感じました。この動画はDVDにプレスしましたのでご希望の方は容環協事務局まで申し込みください。



動画撮影時のようす



啓発動画「もったいない!牛乳パックは捨てないで」

ごみ袋を用いた 啓発活動に取り組みました。

【三鷹市のごみ袋へ広告掲載】

2019年に引き続き、三鷹市のごみ袋外装の広告に応募し採用されました。4種類あるごみ袋のうちMサイズ(20ℓ)とSサイズ(10ℓ)に容環協オリジナルキャラクターの牛乳パックを用いて「紙パックは捨てずにリサイクル」、「あらって ひらいて かわかして 古紙回収または、スーパーなどの回収ボックスへ」のメッセージを記載いたしました。

また、三鷹市のホームページに容環協ホームページへご案内するバナー広告を11月1日から5か月間掲載していただき、市民の皆様にも容環協とともに紙パックリサイクル活動の内容・基本知識をお知らせする良い機会となりました。

このように幅広く市民の皆様にも紙パックリサイクルの大切さを知っていただくために、新しい啓発手段への取組を進めてまいります。



容環協のバナー広告



広告を掲載したMサイズとSサイズのごみ袋